

カリキュラムポリシー

大項目	工学部工学科	プログラム
人間性・社会性・国際性	工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、工学技術者として必要な倫理・規範や責任を判断できる能力を育成する。	社会の要請を察知し、地球的視野を含む幅広い視点から物事を考えることのできる科目を設置する。また、地域を志向した教育・研究・地域貢献を推進するため、学士課程に地域の理解と課題解決に取り組む科目を設置する。
主体的に学ぶ力	専門分野に深い興味を持ち、自学自習による自発的な学習能力を育成する。	アクティブラーニングを取り入れた教育方法を実施し、学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できる科目を設置する。
コミュニケーション能力	日本語による論理的な記述、口頭発表及び討論ができ、かつ基礎的な工学英語を使ったコミュニケーション能力を育成する。	レポート作成・プレゼンテーション・工学英語活用を含むコミュニケーション能力を養成する科目を設置する。
課題発見・解決力	学生の知識や能力の向上を厳正に評価し、教員による適切な学習指導と教育内容の改善により課題解決の能力を身につけた人材を養成する。	すべての学生が履修する基礎教育カリキュラムとして、課題発見科目（専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題）を設置する。
	身につけた専門知識を課題の発見や探求に利用し、さらに課題解決へ応用できるデザイン能力を育成する。	獲得した知識や技能を統合し、課題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力や態度を育成するために、卒業研究等の科目を設置する。
知識・理解・技能	学生の知識や能力の向上を厳正に評価し、教員による適切な学習指導と教育内容の改善により基本的な専門知識を身につけた人材を養成する。	基本的な学習能力の獲得のため、すべての学生が履修する基礎教育カリキュラムとして、導入科目（大学教育入門セミナー、情報・数量スキル、外国語コミュニケーション、専門基礎）と学士力発展科目を設置する。
	自然科学やデータサイエンス、ならびに専門領域に対する基礎知識を身につけ、その知識を基にグローバルな視点から多面的に物事を考える能力を育成する。	土木環境のどの分野でも活躍できる基礎能力を身に付け、多面的に物事を考える能力を養うために、幅広い範囲の科目を設置する。また、総合的な知見を有する人材の育成を行うために、複数の工学系分野を横断的に学習できる融合科目を設置する。